

# たてしん通信

009号

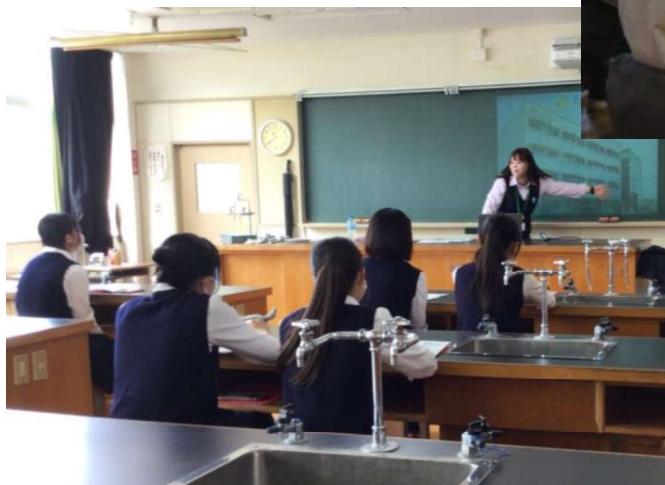
**金融・地域経済等  
出前講座**



【長狭高等学校】



【鴨川中学校】



【安房高等学校】

安房地域の中学校・高校で、金融教育の一環として、金融の基礎知識を知り、金融リテラシーを高めるための出前講座を提供しています。

(詳しくは次ページをご覧ください)



令和5年10月15日



地域と共に、皆様と共に

**館山信用金庫**

<https://www.shinkin.co.jp/tateyama/>



『千葉県PRマスコットキャラクター チーバくん』



ちばSDGs

ちばSDGsパートナー 933号

# 館山信用金庫では、金融や地域経済等に関する出前講座をおこなっています。

## 【出前講座テーマ例】

### ◎金融リテラシー講座

2022年からの高校での金融教育義務化や成人年齢の引き下げにともない、金融リテラシー講座を提供しています。子ども達にも身近な金融機関として、年齢や学校のニーズに合わせた資料を作成し、お金の大切さをお伝えします。また、教員・保護者向けの講演も可能です。



対象者：小学生・中学生・高校生（公民／家庭科／総合学習）、教員・保護者 など

#### 1. 家計管理とライフプランニング ～書いて「稼ぐ」ことと将来設計について★

##### 1-1. 家計管理

家庭生活を営むための収入と支出の運営を管理することを「家計管理」といいます。

高校生の場合

**収入**

小遣い  
お年玉  
アルバイト代

➔

**支出**

お菓子  
友人との遊び  
ゲーム

本・雑誌  
洋服  
など

大学生や社会人になって、ひとり暮らしをする場合、どのようなお金が必要でしょうか？

#### 4. 金融トラブル

トラブルを避けるには

？ トラブルを避けるには、どうすればよいでしょうか？

**鉄則は3つ！**

- おいしい話には気をつける**  
「ロースク・ハイターン」はあり得ない。「おいしい話」は存在しない。
- 向こうから近寄ってきてははっきり断る**  
「今だけ」「あなただけ」には要注意。遠慮は無用。「いりません」とはっきり言いましょう。
- 万が一トラブルに遭っても、決して諦めない**  
ひとりで悩まず、早めに適切な相手に相談することで道が開ける。

#### 3. 「貯める・増やす」～資産形成

##### 金融商品の3つの基準

どのくらい利益が期待できるか

**収益性**

3つの基準すべてを完全に満たす金融商品はない

元本が減らないかどうか

**安全性**

お金を引き出しやすいかどうか

**流動性**

元本とは、金融商品の購入・投資に充てた資金の額。いわゆる元手です。

### ◎地域課題総論

地域に根差した信用金庫だからこそ集まる情報から見える地域課題とそれに対する取組みについて、分析を含めてお話しします。

#### 事例③ 空き家を関係人口増加の拠点に

【課題】 空き家の増加×民泊の空室活用  
・ヤマナアカデミー  
「小屋DIY」/「狩猟ジビエ」コース  
<https://yamana-academy.ai/>  
[https://yama-hi.com/wpfm\\_kstst/](https://yama-hi.com/wpfm_kstst/)

⇒地域をリピート来訪する「関係人口」化へ

対象者：地域内外の企業研修、大学のフィールドワーク、企業ワークショップ、地域団体の勉強会など

### 【主な実績】

#### 2022年度

- ・長狭高校 金融出前講座「高校生のための金融リテラシー講座」
- ・鴨川中学校 「職業インタビュー」
- ・長狭高校 ミニ集会（保護者等向け）「南房総地区を取り巻く現状と課題」
- ・安房拓心高校 金融出前講座「高校生のための金融リテラシー講座」
- ・安房西高校 金融出前講座「高校生のための金融リテラシー講座」
- ・千葉大学 「地方創生を語る～南房総地域Uターンの記録～」
- ・館山市九重地区 講演会「発想の転換で地域の“課題”を“資源”に～ネガティブはポジティブの種！」

#### 2023年度

- ・嶺南中学校 金融出前講座「金融機関の役割・仕組みについて」
- ・安房高校 地域事業者から学ぶワークショップ「ローカルキャリアのすすめ」
- ・館山市役所 職員向け勉強会「南房総地域経済循環分析入門」



※上記テーマ以外にも外部連携先等を招聘したセミナー開催も可能です。社内での勉強会や有志の集まりなどお気軽にお問い合わせください。（原則無料）

担当：館山信用金庫 支援部 地域支援課 0470-29-3015

# たてしん中小企業景況レポート No.23

令和5年(2023年)7月～9月

編集・発行：館山信用金庫  
支援部  
TEL:0470-29-3015



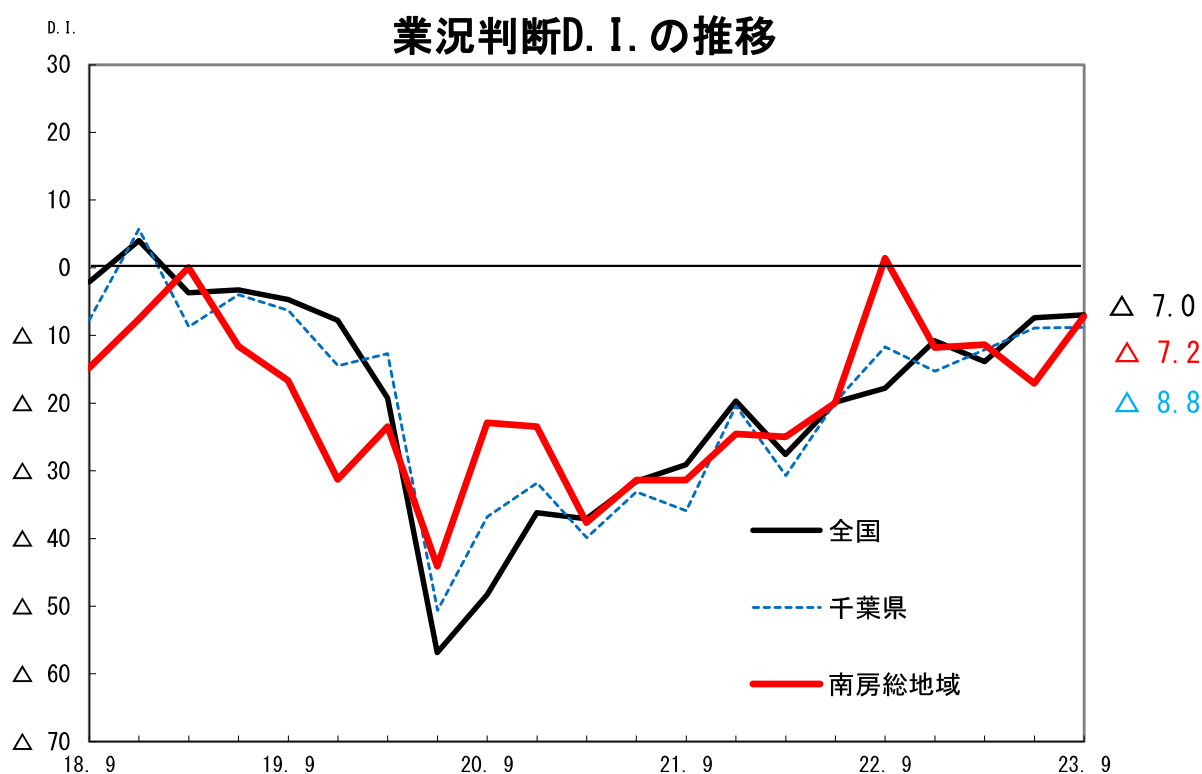
地域と共に、皆様と共に

館山信用金庫

## <概況>

令和5年(2023年)7～9月期の全国の業況判断D.I.は $\Delta 7.0$ 、前期に比べ0.4ポイントの上昇となった。

なお、今回の業況判断D. I. は、前回調査時における今期見通し( $\Delta 5.6$ )を1.4ポイント下回った。 ※業況判断D.I.(「良い」と回答した割合から「悪い」と回答した割合の差、プラスほど良い)

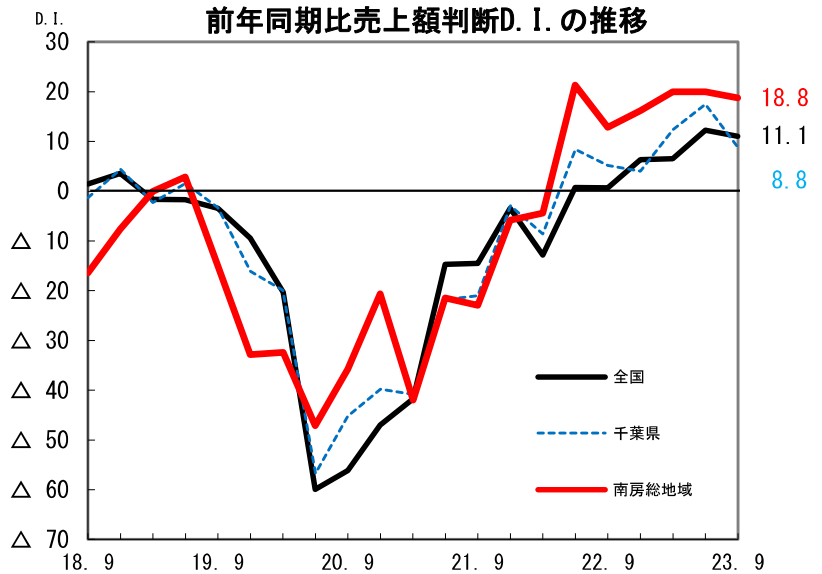


千葉県の業況判断D.I.は $\Delta 8.8$ と、前期に比べ0.1ポイントの上昇となった。  
南房総地域の業況判断D.I.は $\Delta 7.2$ と、前期に比べ9.9ポイントの上昇となった。

※D.I.とは、Diffusion Indexの略で企業の業況感や人員の過不足などの各種判断を指標化したものです

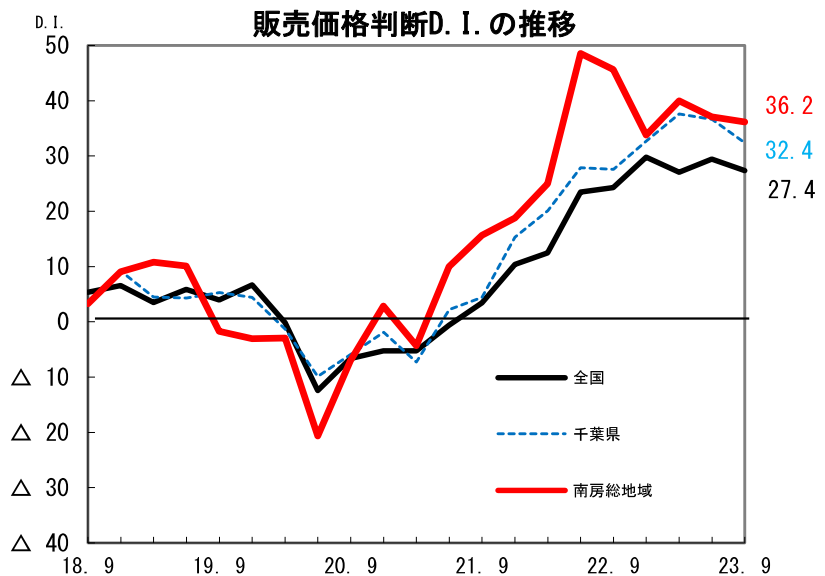
(全国・千葉・南房総)  
売上はプラス水準

全国の前年同期比売上額判断D.I.は11.1とプラスの水準を維持している。  
南房総地域でも、18.8となり全国・千葉県・南房総ともにプラスの水準となっている。  
※売上額判断D.I.（「増加した」と回答した割合から「減少した」と回答した割合の差、プラスほど良い）



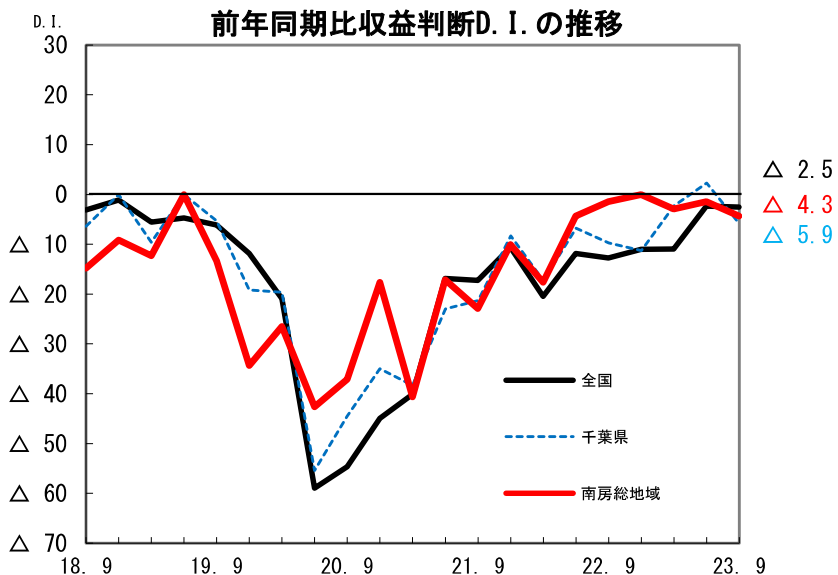
(全国・千葉・南房総)  
販売価格は高水準を維持

全国の販売価格判断D.I.は27.4と前期比2.1ポイント低下となった。  
南房総地域では、36.2と前期比0.9ポイント低下となった。  
※販売価格判断D.I.（「上がった」と回答した割合から「下がった」と回答した割合の差、プラスほど販売価格が上昇）



(全国・千葉・南房総)  
収益は前年同期比低下

全国の前年同期比収益判断D.I.は△2.5と依然としてマイナスの水準となった。  
南房総地域でも、△4.3と引き続きマイナスの水準となった。  
※収益判断D.I.（「増加した」と回答した割合から「減少した」と回答した割合の差、プラスほど良い）

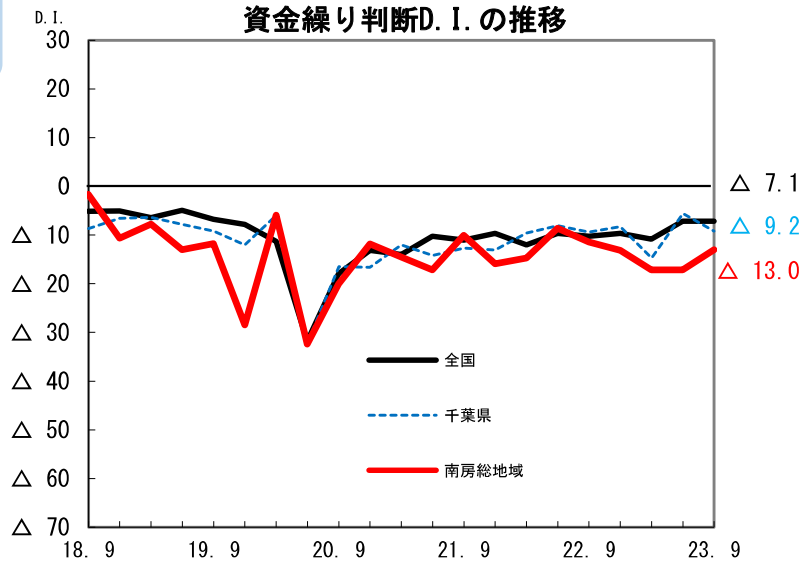


(南房総)  
資金繰りは改善傾向

全国の資金繰り判断D.I.は  
△7.1と前期比±0.0と横這い  
となった。

南房総地域では、△13.0と  
前期比4.1ポイントの上昇と  
なった。

※資金繰り判断D.I.（「楽(らく)」と  
回答した割合から「厳しい」と回答  
した割合の差、プラスほど良い）

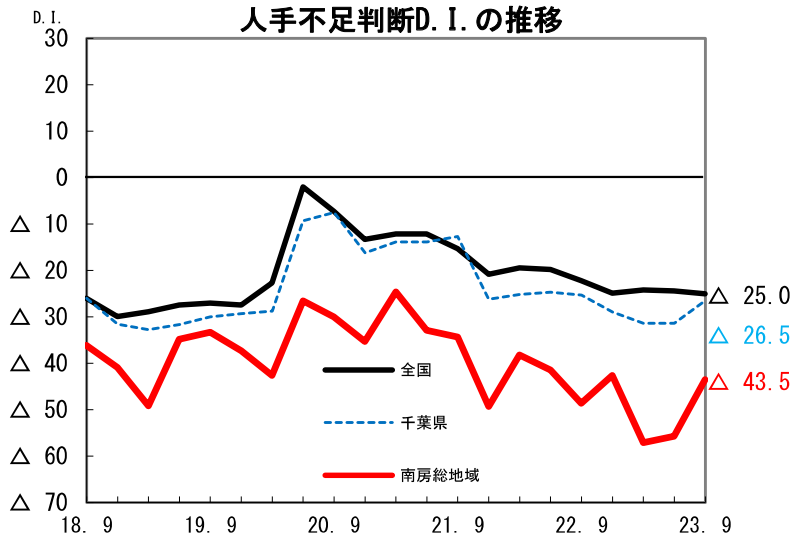


(南房総)  
人手不足感は依然として強い

全国の人手過不足判断D.I.  
は△25.0と前期比0.6ポイント  
拡大し、若干強まった。

南房総地域では、前期比  
12.2ポイント縮小の△43.5と  
弱まった。

※人手過不足判断D.I.（「過剰」と回  
答した割合から「不足」と回答した  
割合の差、マイナスほど人手不足）

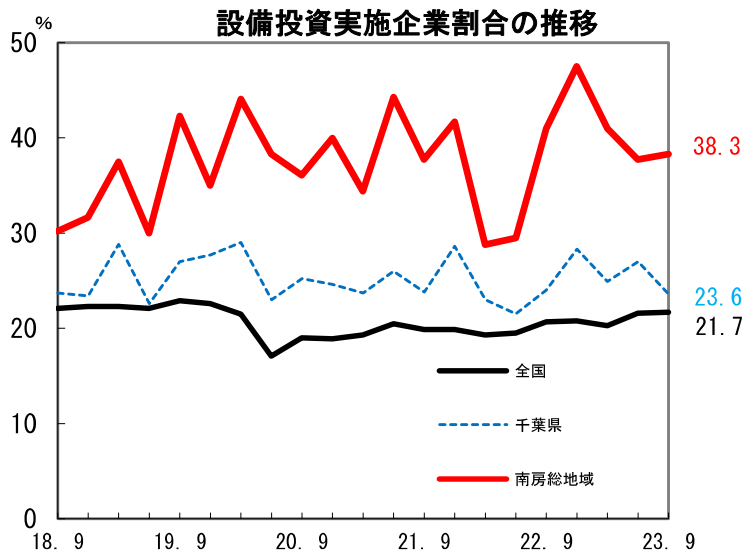


(南房総)  
設備投資は高水準を維持

全国の設備投資実施企業  
割合は21.7%と前期比0.1ポ  
イント上昇となった。

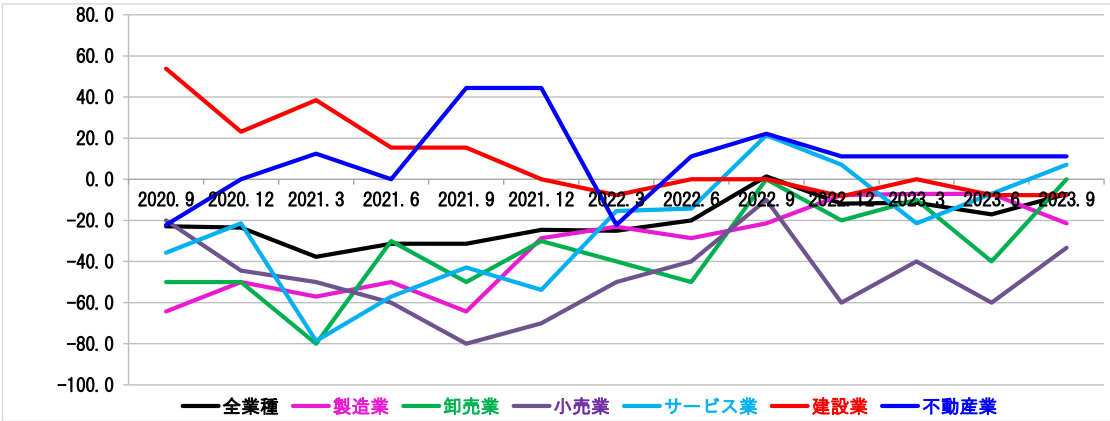
南房総地域では38.3%と前  
期比0.6ポイント上昇し、高水  
準を維持している。

※設備投資実施企業割合（設備投  
資を実施した企業の割合）



# 主要項目時系列表

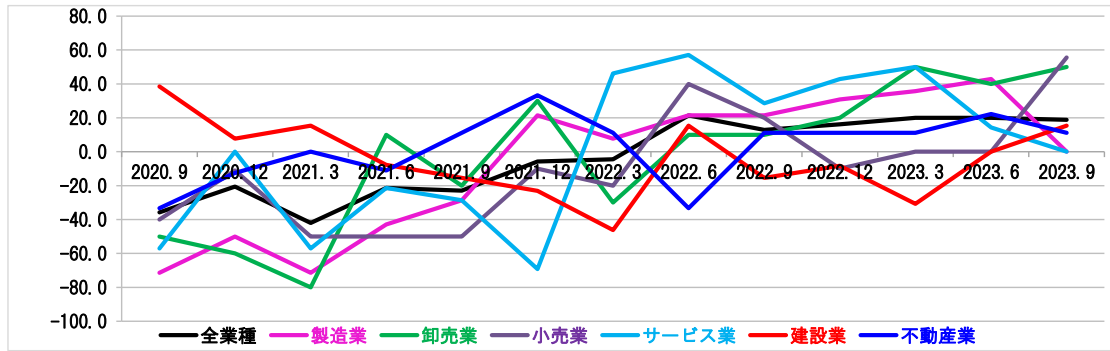
## 業況判断 D.I



区分	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12
全業種	-22.9	-23.5	-37.7	-31.4	-31.4	-24.6	-25.0	-20.0	1.4	-11.8	-11.4	-17.1	-7.2	-30.4
製造業	-54.3	-50.0	-57.1	-50.0	-54.3	-28.6	-23.1	-28.6	-21.4	-7.7	-7.1	-7.1	-21.4	-28.6
卸売業	-50.0	-50.0	-80.0	-30.0	-50.0	-30.0	-40.0	-50.0	0.0	-20.0	-10.0	-40.0	0.0	-70.0
小売業	-20.0	-44.4	-50.0	-60.0	-80.0	-70.0	-50.0	-40.0	-10.0	-60.0	-40.0	-60.0	-33.3	-44.4
サービス業	-35.7	-21.4	-78.6	-57.1	-42.9	-53.8	-15.4	-14.3	-21.4	7.1	-21.4	-7.1	7.1	-21.4
建設業	53.8	23.1	38.5	15.4	15.4	0.0	-7.7	0.0	0.0	-8.3	0.0	-7.7	-7.7	-23.1
不動産業	-22.2	0.0	12.5	0.0	44.4	44.4	-22.2	11.1	22.2	11.1	11.1	11.1	11.1	0.0

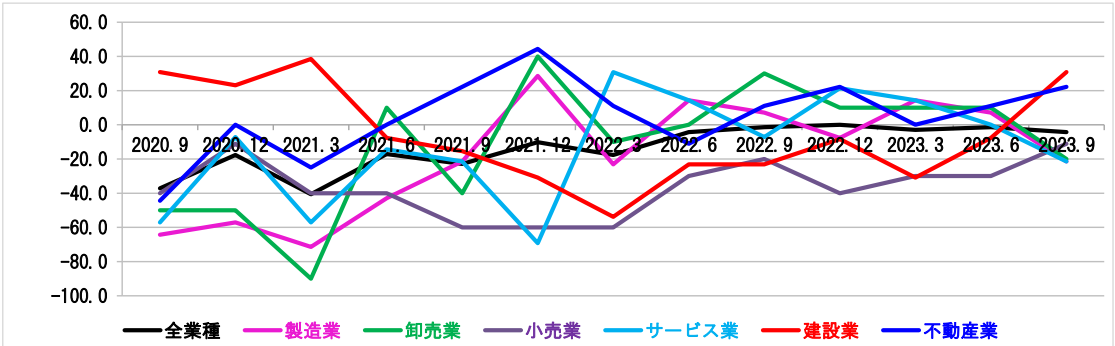
※ 2023.9は、見通しである。

## 売上額判断 D.I (前年同期比)



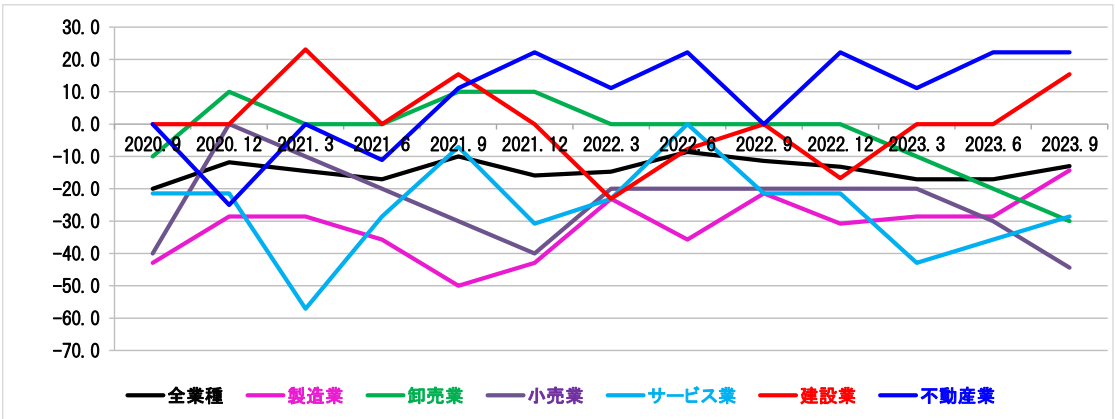
区分	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9
全業種	-35.7	-20.6	-42.0	-21.4	-22.9	-5.8	-4.4	21.4	12.9	16.2	20.0	20.0	18.8
製造業	-71.4	-50.0	-71.4	-42.9	-28.6	21.4	7.7	21.4	21.4	30.8	35.7	42.9	0.0
卸売業	-50.0	-60.0	-80.0	10.0	-20.0	30.0	-30.0	10.0	10.0	20.0	50.0	40.0	50.0
小売業	-40.0	-11.1	-50.0	-50.0	-50.0	-10.0	-20.0	40.0	20.0	-10.0	0.0	0.0	55.6
サービス業	-57.1	0.0	-57.1	-21.4	-28.6	-69.2	46.2	57.1	28.6	42.9	50.0	14.3	0.0
建設業	38.5	-7.7	15.4	-7.7	-15.4	-23.1	-46.2	15.4	-15.4	-8.3	-30.8	0.0	15.4
不動産業	-33.3	-12.5	0.0	-11.1	11.1	33.3	11.1	-33.3	11.1	11.1	11.1	22.2	11.1

### 収益判断 D.I (前年同期比)



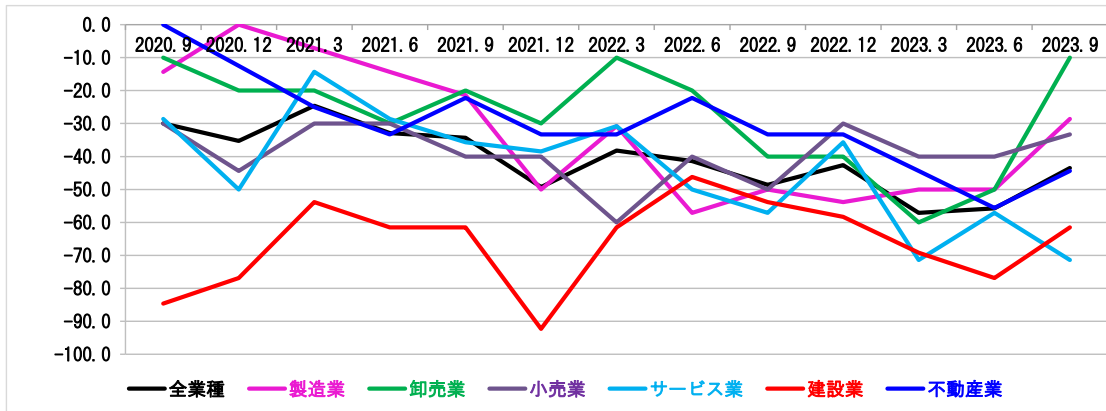
区分	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9
全業種	-37.1	-17.6	-40.6	-17.1	-22.9	-10.1	-17.6	-4.3	-1.4	0.0	-2.9	-1.4	-4.3
製造業	-64.3	-57.1	-71.4	-42.9	-21.4	28.6	-23.1	14.3	7.1	-7.7	14.3	7.1	-21.4
卸売業	-50.0	-50.0	-90.0	10.0	-40.0	40.0	-10.0	0.0	30.0	10.0	10.0	10.0	-20.0
小売業	-40.0	-11.1	-40.0	-40.0	-60.0	-60.0	-60.0	-30.0	-20.0	-40.0	-30.0	-30.0	-11.1
サービス業	-57.1	-7.1	-57.1	-14.3	-21.4	-69.2	30.8	14.3	-7.1	21.4	14.3	0.0	-21.4
建設業	30.8	23.1	38.5	-7.7	-15.4	-30.8	-53.8	-23.1	-23.1	-8.3	-30.8	-7.7	30.8
不動産業	-44.4	0.0	-25.0	0.0	22.2	44.4	11.1	-11.1	11.1	22.2	0.0	11.1	22.2

### 資金繰り判断 D.I (楽-苦)



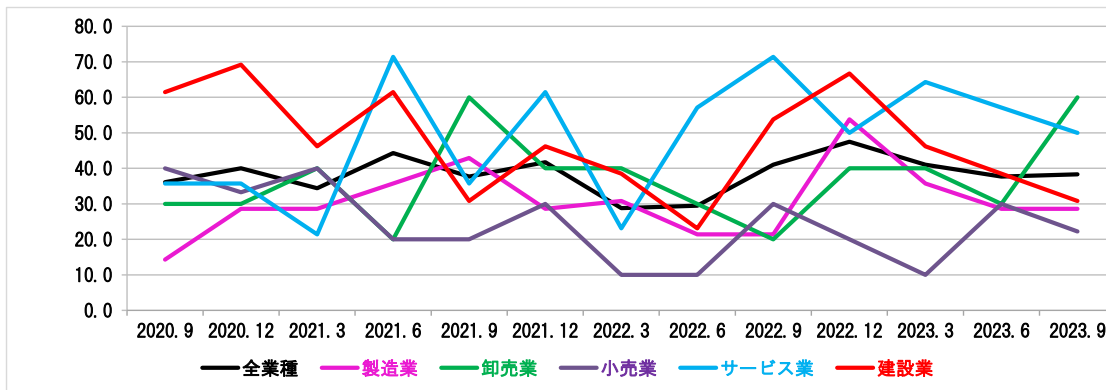
区分	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9
全業種	-20.0	-11.8	-14.5	-17.1	-10.0	-15.9	-14.7	-8.6	-11.4	-13.2	-17.1	-17.1	-13.0
製造業	-42.9	-28.6	-28.6	-35.7	-50.0	-42.9	-23.1	-35.7	-21.4	-30.8	-28.6	-28.6	-14.3
卸売業	-10.0	10.0	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-10.0	-20.0	-30.0
小売業	-40.0	0.0	-10.0	-20.0	-30.0	-40.0	-20.0	-20.0	-20.0	-20.0	-20.0	-30.0	-44.4
サービス業	-21.4	-21.4	-57.1	-28.6	-7.1	-30.8	-23.1	0.0	-21.4	-21.4	-42.9	-35.7	-28.6
建設業	0.0	0.0	23.1	0.0	15.4	0.0	-23.1	-7.7	0.0	-16.7	0.0	0.0	15.4
不動産業	0.0	-25.0	0.0	-11.1	11.1	22.2	11.1	22.2	0.0	22.2	11.1	22.2	22.2

### 人手不足判断 D.I (過剰-不足)



区分	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9
全業種	-30.0	-35.3	-24.6	-32.9	-34.3	-49.3	-38.2	-41.4	-48.6	-42.6	-57.1	-55.7	-43.5
製造業	-14.3	0.0	-7.1	-14.3	-21.4	-50.0	-30.8	-57.1	-50.0	-53.8	-50.0	-50.0	-28.6
卸売業	-10.0	-20.0	-20.0	-30.0	-20.0	-30.0	-10.0	-20.0	-40.0	-40.0	-60.0	-50.0	-10.0
小売業	-30.0	-44.4	-30.0	-30.0	-40.0	-40.0	-60.0	-40.0	-50.0	-30.0	-40.0	-40.0	-33.3
サービス業	-28.6	-50.0	-14.3	-28.6	-35.7	-38.6	-30.8	-50.0	-57.1	-35.7	-71.4	-57.1	-71.4
建設業	-84.6	-76.9	-53.8	-61.5	-61.5	-92.3	-61.5	-46.2	-53.8	-58.3	-69.2	-76.9	-61.5
不動産業	0.0	-12.5	-25.0	-33.3	-22.2	-33.3	-33.3	-22.2	-33.3	-33.3	-44.4	-55.6	-44.4

### 設備投資実施企業割合 (%)

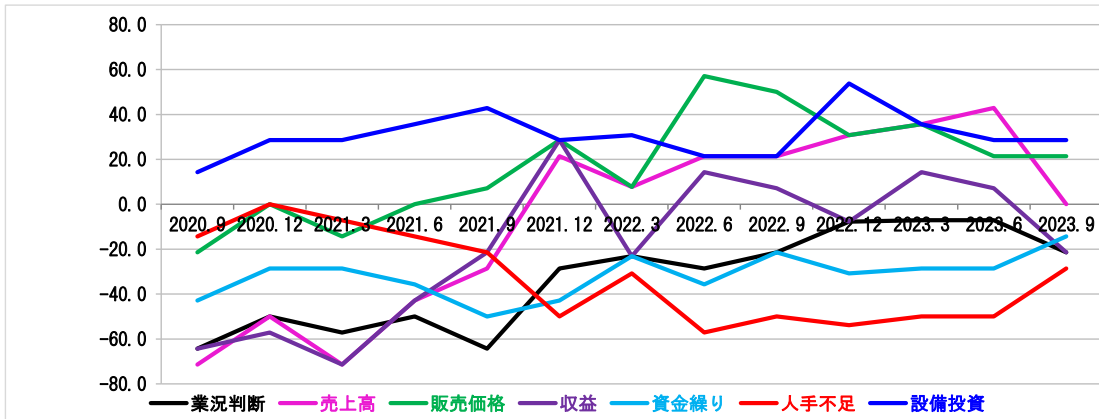


区分	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9
全業種	36.1	40.0	34.4	44.3	37.7	41.7	28.8	29.5	41.0	47.5	41.0	37.7	38.3
製造業	14.3	28.6	28.6	35.7	42.9	28.6	30.8	21.4	21.4	53.8	35.7	28.6	28.6
卸売業	30.0	30.0	40.0	20.0	60.0	40.0	40.0	30.0	20.0	40.0	40.0	30.0	60.0
小売業	40.0	33.3	40.0	20.0	20.0	30.0	10.0	10.0	30.0	20.0	10.0	30.0	22.2
サービス業	35.7	35.7	21.4	71.4	35.7	61.5	23.1	57.1	71.4	50.0	64.3	57.1	50.0
建設業	61.5	69.2	46.2	61.5	30.8	46.2	38.5	23.1	53.8	66.7	46.2	38.5	30.8

※ 不動産業は、調査対象外である。

# 業種別時系列表

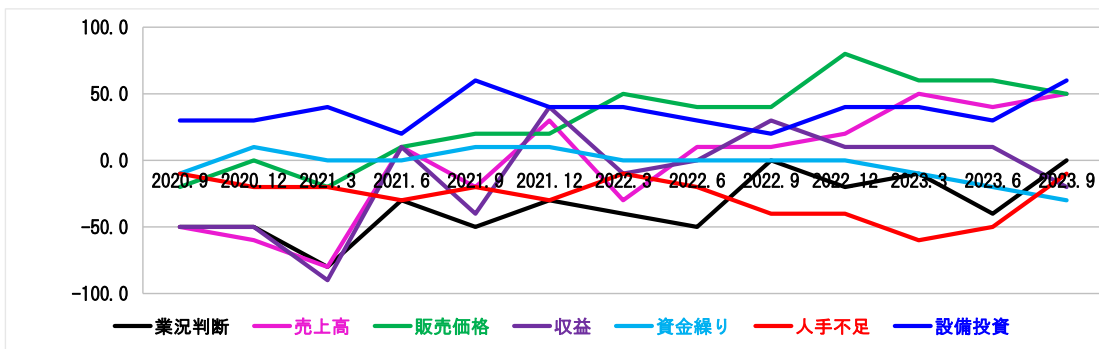
## 製造業



区分	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12
業況判断	-64.3	-50.0	-57.1	-50.0	-64.3	-28.6	-23.1	-28.6	-21.4	-7.7	-7.1	-7.1	-21.4	-28.6
売上高	-71.4	-50.0	-71.4	-42.9	28.6	21.4	7.7	21.4	21.4	30.8	35.7	42.9	0.0	
販売価格	-21.4	0.0	-14.3	0.0	7.1	28.6	7.7	57.1	50.0	30.8	35.7	21.4	21.4	
収益	-64.3	-57.1	-71.4	-42.9	-21.4	28.6	-23.1	14.3	7.1	-7.7	14.3	7.1	-21.4	
資金繰り	-42.9	-28.6	-28.6	-35.7	-50.0	-42.9	-23.1	-35.7	-21.4	-30.8	-28.6	-28.6	-14.3	
人手不足	-14.3	0.0	-7.1	-14.3	-21.4	-50.0	-30.8	-57.1	-50.0	-53.8	-50.0	-50.0	-28.6	
設備投資	14.3	28.6	28.6	35.7	42.9	28.6	30.8	21.4	21.4	53.8	35.7	28.6	28.6	

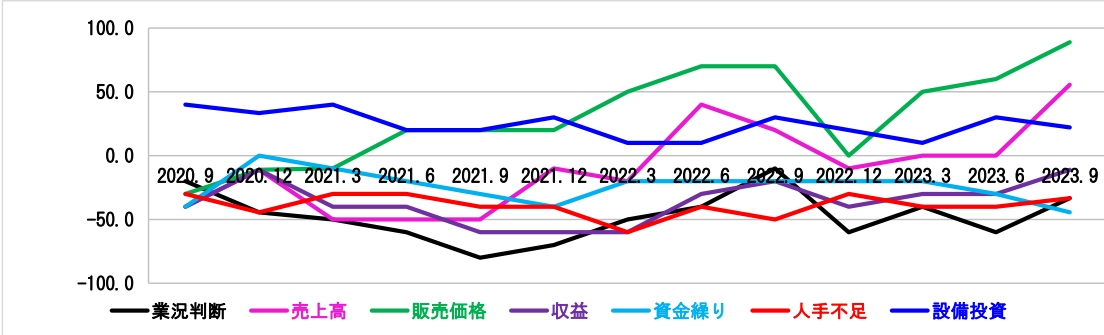
※ 2023.9は、見通しである。

## 卸売業



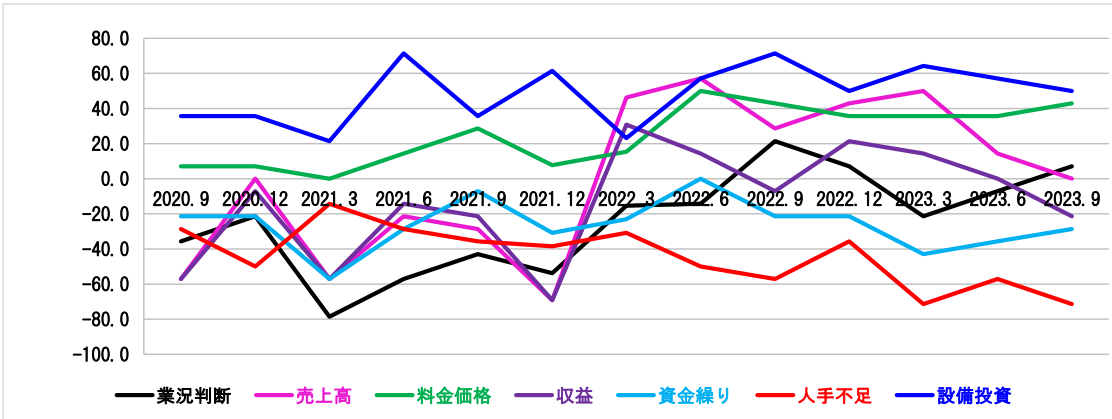
区分	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12
業況判断	-50.0	-50.0	-80.0	-30.0	-50.0	-30.0	-40.0	-50.0	0.0	-20.0	-10.0	-40.0	0.0	-70.0
売上高	-50.0	-60.0	-80.0	10.0	-20.0	30.0	-30.0	10.0	10.0	20.0	50.0	40.0	50.0	
販売価格	-20.0	0.0	-20.0	10.0	20.0	20.0	50.0	40.0	40.0	80.0	60.0	60.0	50.0	
収益	-50.0	-50.0	-90.0	10.0	-40.0	40.0	-10.0	0.0	30.0	10.0	10.0	10.0	-20.0	
資金繰り	-10.0	10.0	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-10.0	-20.0	-30.0	
人手不足	-10.0	-20.0	-20.0	-30.0	-20.0	-30.0	-10.0	-20.0	-40.0	-40.0	-60.0	-50.0	-10.0	
設備投資	30.0	30.0	40.0	20.0	60.0	40.0	40.0	30.0	20.0	40.0	40.0	30.0	60.0	

## 小売業



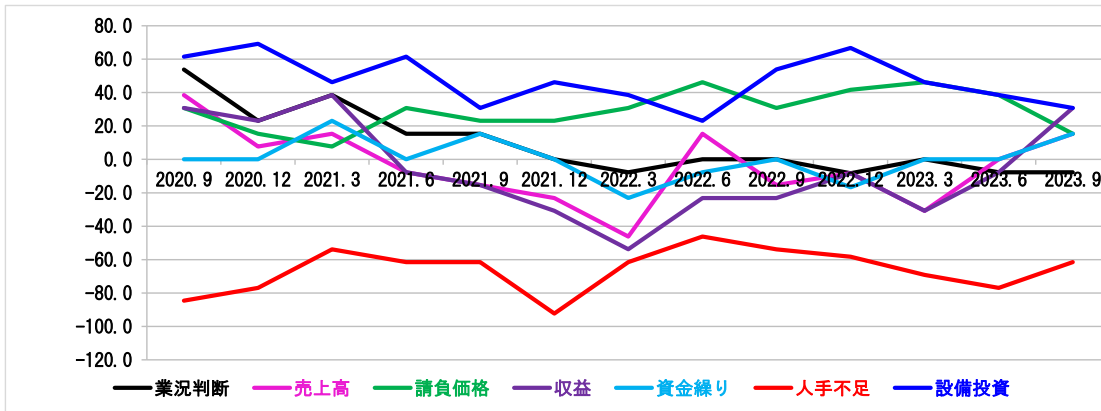
区分	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12
業況判断	-20.0	-44.4	-50.0	-60.0	-80.0	-70.0	-50.0	-40.0	-10.0	-60.0	-40.0	-60.0	-33.3	-44.4
売上高	-40.0	-11.1	-50.0	-50.0	-50.0	-10.0	-20.0	40.0	20.0	-10.0	0.0	0.0	55.6	
販売価格	-30.0	-11.1	-10.0	20.0	20.0	20.0	50.0	70.0	70.0	0.0	50.0	60.0	88.9	
収益	-40.0	-11.1	-40.0	-40.0	-60.0	-60.0	-60.0	-30.0	-20.0	-40.0	-30.0	-30.0	-11.1	
資金繰り	-40.0	0.0	-10.0	-20.0	-30.0	-40.0	-20.0	-20.0	-20.0	-20.0	-20.0	-30.0	-44.4	
人手不足	-30.0	-44.4	-30.0	-30.0	-40.0	-40.0	-60.0	-40.0	-50.0	-30.0	-40.0	-40.0	-33.3	
設備投資	40.0	33.3	40.0	20.0	20.0	30.0	10.0	10.0	30.0	20.0	10.0	30.0	22.2	

## サービス業



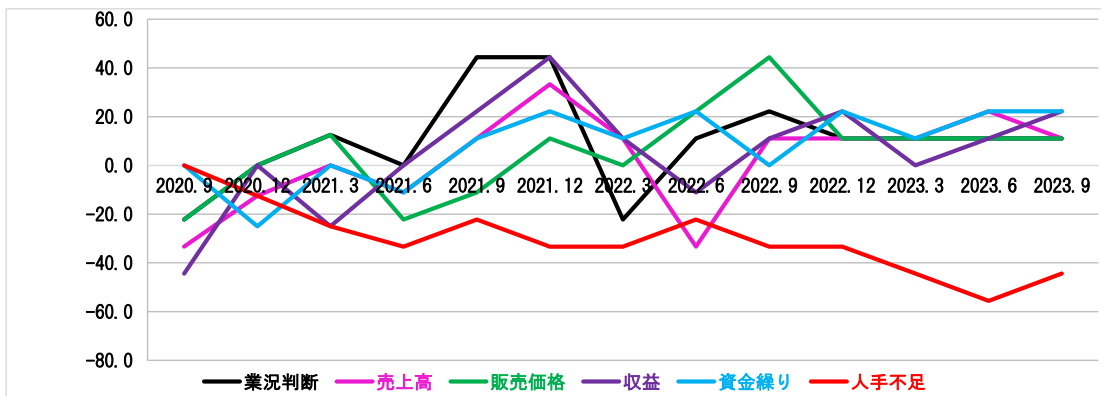
区分	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12
業況判断	-35.7	-21.4	-78.6	-57.1	-42.9	-53.8	-15.4	-14.3	21.4	7.1	-21.4	-7.1	7.1	-21.4
売上高	-57.1	0.0	-57.1	-21.4	-28.6	-69.2	46.2	57.1	28.6	42.9	50.0	14.3	0.0	
料金価格	7.1	7.1	0.0	14.3	28.6	7.7	15.4	50.0	42.9	35.7	35.7	35.7	42.9	
収益	-57.1	-7.1	-57.1	-14.3	-21.4	-69.2	30.8	14.3	-7.1	21.4	14.3	0.0	-21.4	
資金繰り	-21.4	-21.4	-57.1	-28.6	-7.1	-30.8	-23.1	0.0	-21.4	-21.4	-42.9	-35.7	-28.6	
人手不足	-28.6	-50.0	-14.3	-28.6	-35.7	-38.6	-30.8	-50.0	-57.1	-35.7	-71.4	-57.1	-71.4	
設備投資	35.7	35.7	21.4	71.4	35.7	61.5	23.1	57.1	71.4	50.0	64.3	57.1	50.0	

## 建設業



区分	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12
業況判断	53.8	23.1	38.5	15.4	15.4	0.0	-7.7	0.0	0.0	-8.3	0.0	-7.7	-7.7	-23.1
売上高	38.5	7.7	15.4	-7.7	-15.4	-23.1	-46.2	15.4	-15.4	-8.3	-30.8	0.0	15.4	
請負価格	30.8	15.4	7.7	30.8	23.1	23.1	30.8	46.2	30.8	41.7	46.2	38.5	15.4	
収益	30.8	23.1	38.5	-7.7	-15.4	-30.8	-53.8	-23.1	-23.1	-8.3	-30.8	-7.7	30.8	
資金繰り	0.0	0.0	23.1	0.0	15.4	0.0	-23.1	-7.7	0.0	-16.7	0.0	0.0	15.4	
人手不足	-84.6	-76.9	-53.8	-61.5	-61.5	-92.3	-61.5	-46.2	-53.8	-58.3	-69.2	-76.9	-61.5	
設備投資	61.5	69.2	46.2	61.5	30.8	46.2	38.5	23.1	53.8	66.7	46.2	38.5	30.8	

## 不動産業



区分	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9	2021.12	2022.3	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12
業況判断	-22.2	0.0	12.5	0.0	44.4	44.4	-22.2	11.1	22.2	11.1	11.1	11.1	11.1	0.0
売上高	-33.3	-12.5	0.0	-11.1	11.1	33.3	11.1	-33.3	11.1	11.1	11.1	22.2	11.1	
販売価格	-22.2	0.0	12.5	-22.2	-11.1	11.1	0.0	22.2	44.4	11.1	11.1	11.1	11.1	
収益	-44.4	0.0	-25.0	0.0	22.2	44.4	11.1	-11.1	11.1	22.2	0.0	11.1	22.2	
資金繰り	0.0	-25.0	0.0	-11.1	11.1	22.2	11.1	22.2	0.0	22.2	11.1	22.2	22.2	
人手不足	0.0	-12.5	-25.0	-33.3	-22.2	-33.3	-33.3	-22.2	-33.3	-33.3	-44.4	-55.6	-44.4	

※ 設備投資は、調査対象外である。

# たてしん中小企業景況レポート No. 23 特徴等

(令和5年(2023年)7月~9月)

## ◆業況判断 D. I. ◆

業況判断 D. I. を見ると、全国では前期比 0.4 ポイント上昇の△7.0、千葉県では前期比 0.1 ポイント上昇の△8.8、南房総地域においては前期比 9.9 ポイントと大きく上昇の△7.2 となり、**全国・千葉県・南房総地域で上昇**となりました。

今回の調査は夏休み需要が落ち着きを見せた9月上旬の調査でしたが、全国・南房総地域でほぼ同水準という結果となりました。

次期の予想業況判断 D. I. を見ると、全国△4.4 (今期比+2.6)、千葉県△9.5 (今期比△0.7)、南房総地域△30.4 (今期比△23.2) と、**千葉県・南房総地域で低下**が見込まれており、特に南房総地域は2021年9月期以来の低水準が見込まれています。

## ◆南房総地域の業況判断 D. I. (前期比) ◆

南房総地域の業況判断 D. I. の業種別では、卸売業 0.0 (前期比+40.0)、小売業 △33.3 (前期比+26.7)、サービス業 7.1 (前期比+14.2) と6業種中**3業種が上昇**となりました。一方、建設業△7.7 (前期比±0.0) と不動産業 11.1 (前期比±0.0) は横ばい、**製造業のみ△21.4 (前期比△14.3) と低下**しました。

南房総地域は、2022年9月期も上昇しており、今回は新型コロナが5類感染症に移行したことを受け、夏休みシーズンのレジャー需要によって売上が改善したことが推測されます。

## ◆南房総地域の次期の見込み ◆

次期については、業種別では全業種で低下を見込んでいます。特に不動産業を除き全業種でマイナスの水準となり、**卸売業△70.0 と小売業△44.4 の水準が低く**、要因としては仕入価格の高騰やガソリン代・電気代等のコスト増の影響と推測されます。

## ◆売上額判断 D. I. (前年同期比・南房総地域) ◆

南房総地域の売上額判断 D. I. は引続きプラスとなりました。水準は依然として全国・千葉県を上回っており、業種別で見ると、卸売業、小売業、建設業、不動産業の**4業種においてプラスの水準**となり、製造業とサービス業は横ばいとなりました。加えて販売価格 D. I. も全業種でプラスとなっていることから、多くの事業者において物価上昇の影響を価格に転嫁できたと推測されます。

## ◆収益判断 D. I. (前年同期比・南房総地域) ◆

南房総地域の収益判断 D. I. は、△4.3 となりました。業種別で見ると、製造業△21.4、卸売業△20.0、小売業△11.1、サービス業△21.4、建設業 30.8、不動産業 22.2 となりました。小売業と卸売業は売上額判断 D. I. と販売価格判断 D. I. が高水準であるものの、収益判断 D. I. がマイナスであることから、販売価格に転嫁したものの**十分な転嫁が出来ていない**と推測されます。建設業と不動産業は売上額判断 D. I.、収益判断 D. I. とともにプラス水準となり、仕入価格・販売価格の高騰等に対し十分に価格転嫁できたと考えられます。

#### ◆資金繰り判断D. I. (南房総地域)◆

資金繰り判断D. I. を業種別で見ると、製造業△14.3 (前期比+14.3)、サービス業△28.6 (前期比+7.1)、建設業15.4 (前期比+15.4)と3業種で改善となりました。

その他の4業種は、不動産業22.2 (前期比±0.0)で横ばい、卸売業△30.0 (前期比△10.0)、小売業△44.4 (前期比△14.4)と低下しました。なお、全体では改善したものの、水準は△13.0と全国△7.1、千葉県△9.2を下回っており南房総地域においては資金繰りがやや厳しい状況にあると窺えます。

#### ◆人手不足判断D. I. (南房総地域)・設備投資実施企業割合 (南房総地域)◆

人手不足判断D. I. を見ると、全国・千葉県に比べて依然として低水準で推移する中で今期は△43.5 (前期比+12.2)と弱まりました。全ての業種でマイナスの水準となっていますが、特にサービス業のみ△71.4 (前期比△14.3)と人手不足感が強まりました。

一方、設備投資企業割合は38.3% (前期比+0.6)と全国・千葉県に比べて引き続き高水準を維持しています。業種別では卸売業が60.0と最も高くなっています。

#### ◆特別調査「中小企業の将来を見据えた事業承継」について◆

「貴社の社長の年齢階層、後継者問題」について、社長の年齢階層は全国では60歳代以上が5割を超えているのに対し、南房総地域は47.1%にとどまり、一方で40歳代以下が29.4%と全国の19.2%を上回りました。また、後継者について、「後継者はすでに決まっている」(32.8%)が全国(26.2%)より高く、南房総地域では経営者の代替わりや事業承継による後継者問題への対応が進んでいることが窺えます。

「現時点における事業承継の考え方」については、「子供(娘婿などを含む)に承継」が全国39.0%に対し、南房総地域は55.9%となっており、南房総地域では子供への承継の意向が全国よりも高くなっています。一方で、「現時点で考えるつもりはない」と回答した中小企業等が約2割となりました。

「M&A(第三者への事業譲渡)についてどのような認識を持っているか」については、「事業を最適な先に譲渡できる」、「従業員の雇用を維持できる」、「事業拡大戦略の1つである」といった項目が全国を上回っており、M&Aに対して肯定的な認識を持つ中小企業等が多いという結果となりました。一方で、「専門家の支援が必要なものである」との回答も一定数ありました。

当金庫では、千葉県事業承継・引継ぎ支援センターの個別相談の活用や、国内最大級のM&Aマッチング機能を有するプラットフォームサイト「トランビ」と提携し、「後継者がいない」、「事業承継の進め方が分からない」といったあらゆる悩みの解決に取り組んでいます。

また、事業承継に向けた取組みに対して助成が受けられる「千葉県事業承継支援助成金」もありますので、関心のある方は当金庫までお問い合わせください。

※本景況レポートは、当金庫営業店ロビーの金利表示ボード画面及び房日新聞電子版(QRコード掲載)にて動画による解説を行っております。

## 中小企業の将来を見据えた事業承継について ※抜粋

貴社の社長の年齢階層、後継者問題について			現時点における事業承継の考え方について			
	項目	全国	南房総	項目	全国	南房総
年齢階層	20歳代、30歳代	2.9%	4.4%	子供(娘婿などを含む)に承継	39.0%	55.9%
	40歳代	16.3%	25.0%	その他の同族者(兄弟、親戚など)に承継	7.0%	5.9%
	50歳代	30.1%	23.5%	非同族の役員、従業員に承継	10.0%	4.4%
	60歳代	27.8%	25.0%	非同族の社外人材に承継	1.1%	0.0%
	70歳代以上	22.9%	22.1%	M&A(第三者への事業譲渡)等	3.1%	2.9%
後継者について	後継者はすでに決まっている	26.2%	32.8%	忙しくて考える余裕がない	5.2%	2.9%
	後継者はいるが、まだ決まっていない	21.4%	16.4%	何から手をつけていいかわからない	2.4%	1.5%
	後継者が見当たらない	9.3%	6.0%	身近に相談相手がいない	0.6%	1.5%
	まだ考えていない	36.3%	38.8%	現時点で考えるつもりはない	24.8%	20.6%
	後継者は必要ない(事業譲渡希望、廃業予定など)	6.8%	6.0%	現在の事業を継続するつもりがない	6.8%	4.4%
	<p>「貴社の社長の年齢階層」について、全国では60歳以上が5割を超えているのに対し、南房総地域は47.1%にとどまり、40歳代以下が29.4%となった。また、「後継者はすでに決まっている」(32.8%)が全国より高く、南房総地域では経営者の代替わりや後継者問題への対応が進んでいることが窺える。</p>			<p>「現時点における事業承継の考え方」については、「子供(娘婿などを含む)に承継」が全国39.0%に対し、南房総地域は55.9%となっており、南房総地域では子供への承継の意向が全国よりも高くなった。一方で、「現時点で考えるつもりはない」と回答した中小企業等が約2割となっている。</p>		

### M&A(第三者への事業譲渡)についてどのような認識を持っているか(3つまで回答)

	項目	全国	南房総	項目	全国	南房総
	事業を最適な先に譲渡できる	23.6%	31.3%	乗っ取りなどの負のイメージがある	9.2%	11.9%
	従業員の雇用を維持できる	27.0%	34.3%	中小企業にはなじまない	13.3%	10.4%
	取引関係を維持できる	17.1%	16.4%	従業員の雇用維持に不安がある	12.2%	16.4%
	事業拡大戦略の1つである	21.7%	23.9%	専門家の支援が必要なものである	18.7%	22.4%
				よくわからない	21.4%	14.9%

「M&A(第三者への事業譲渡)についてどのような認識を持っているか」については、「事業を最適な先に譲渡できる」、「従業員の雇用を維持できる」、「事業拡大戦略の1つである」といった項目が全国を上回っており、M&Aに対して肯定的な認識を持つ中小企業等が多いという結果となった。

一方で、「専門家の支援が必要なものである」との回答数が一定数存在した。

#### <調査の概要>

- ①調査時点: 令和5年(2023年)9月1日～7日
- ②調査方法: 当金庫による面接聞き取り方式、または対象企業先による直接記入方式。  
なお、全国および千葉県は信金中央金庫地域・中小企業研究所の調査による。
- ③分析方法: 各質問項目で「増加」(上昇したとする企業が全体に占める構成比と「減少」(下降)したとする企業の構成比との差(D.I.)を中心に分析。
- ④調査地域: 当金庫の調査地域(南房総地域)は、千葉県館山市、南房総市、鴨川市、鋸南町の3市1町。
- ⑤対象企業: 全国の信用金庫の取引先で、特に回答企業のうち従業員20名未満の企業が7割を占めるなど、比較的小規模な企業が主体。
- ⑥標本数: 全国14,840企業(有効回答数13,352企業・回答率90.0%)  
千葉県322企業(有効回答数306企業・回答率95.0%)  
南房総地域 70企業(有効回答数69企業・回答率98.6%)

本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。したがって、投資等についてはご自身の判断によってください。また、本レポート掲載資料は、当金庫が信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当金庫が正確性および完全性を保証するものではありません。

## 「たてしん」近況のご報告

### 電話de詐欺未然防止



7月5日、電話de詐欺を未然に防止したとして、館山警察署から当金庫那古船形支店の井戸真奈美さんに感謝状が贈呈されました。通信事業者を名乗るところへ未納料金を支払おうと来店したお客様から「振り込みについて電話を代わってほしい」と依頼を受け、振込先も個人名義の口座だったことから、電話de詐欺を疑い、館山署へ通報するなどして未然に防ぎました。

### 副業人材マッチング支援



7月19日、中小企業などと副業人材のマッチング支援を目的に、千葉県と人材サービス会社「みらいワークス」、当金庫を含む県内11金融機関、2商工団体が連携協定を結びました。安房を含む県内7地域が支援対象地域で、副業人材の活用によって企業の経営課題解決や関係人口の創出などにつなげ、地域活性化を図ろうという取り組みです。

### 金融サービス提供に関する要望書



7月21日、千倉地区にある地方銀行の支店が移転するとの発表を受け、金融サービスが低下することを懸念し、朝夷商工会から当金庫に金融サービスのさらなる提供に関する要望書が提出されました。それにより、当金庫は千倉支店に地域住民の利便性向上のため新たに両替機を設置しました。

### 被災地へ物資支援



8月16日、台風7号で甚大な被害があった鳥取県内に本店を構える倉吉信用金庫と鳥取信用金庫へ支援物資を送りました。当金庫は令和元年の台風災害の際、県外の信用金庫から支援物資を受け取った経緯があり、今回の災害に対して早急に対応できることを検討し、災害現場で必要とされる品物として災害備蓄品の中からタオルと軍手を送りました。

### 大学生モニター意見交換会開催



8月17日、地域企業・個人で組織する「房創人財育英基金」が運営する大学生モニター制度の意見交換会が当金庫で開催されました。大学生モニターらが「最近気になった南房総エリアのニュースに係る考察」や「南房総地域で働き手を増やすために求められること」などのテーマに沿ったレポートについてそれぞれ発表した他、各テーマについて基金会員と意見を交換しました。

### 「地域経済循環」勉強会開催



8月14日、館山市役所の職員向けに当金庫職員が講師となり「地域経済循環」をテーマにした勉強会を開催しました。オンラインを含めて職員40人が受講し、地域経済循環の重要性や南房総地域の地域経済循環の分析結果、他地域との比較などを説明し、さらに地域の資金の流れが地域経済の活性化にどのようにつながっているかについても解説しました。



最強最悪のボスを救うため、ミニオン史上最大のハチャメチャが巻き起こる！

全米 No.1 ヒット!!

イルミネーション大人気シリーズ 『ミニオンズ』 待望の最新作！

予告編



© 2022 Universal Studios. All Rights Reserved.

**入場無料**

**第3回 みんな集まれ！ たてしんファミリー映画会**

2023 **12.3日** 千葉県南総文化ホール 大ホール

午前の部 開場 10:00 上映 10:30~12:20  
 午後の部 開場 13:30 上映 14:00~15:50

主催 館山信用金庫



後援 鎌山市 / 鎌山市教育委員会 / 福川市教育委員会 / 南房総市教育委員会 / 館南町教育委員会 / (有) 房州日日新聞社 / (一社) 関東信用金庫協会

地域の子育て支援の一環として、4年ぶりに「たてしんファミリー映画会」を開催します！参加費は無料。館山信用金庫各営業店にて入場整理券をお申込みください。（11/1より受付開始予定）（午前・午後先着1000人）ぜひご来場いただき、お子さんとの楽しい時間をお過ごしください！